

|  |   |                |   |    |       |      |           |       |   |   |
|--|---|----------------|---|----|-------|------|-----------|-------|---|---|
| 授業科目   | 病後児保育   | 1単位            | 選択  | 演習 | 2学年前期 | 担当教員 | 教授 櫻井ますみ  |       |   |   |
| 授業の概要  | <p>① 子育ての多様化と言われる現代、子育てと就労の両立を支援するためにはいろいろなタイプの児童を保育する要望がある。その中で、体調が思わしくない子どもの保育について、課題を提示しながら授業を展開していく。</p> <p>② 病後児保育とは主治医が安静などを十分に配慮した保育であらば、病状が再び悪化することはないと判断した回復期の児童を意味しています。その為、発達を理解した上で、病状についての学習が必要とされる。</p> <p>③ 講義は乳幼児に生じる代表的な症状について学習し、観察のポイント、対応方法など演習を交えて展開していく。</p> <p>④ 保育は元気な子どもだけでなくことを踏まえてどのような対応をしたらよいか自らに問いかけて受講してもらいたい。</p> |                |   |    |       |      |           |       |   |   |
| 到達目標   |   | 学習成果Ⅰ          |   |    | 学習成果Ⅱ |      |           | 学習成果Ⅲ |   |   |
|  |   | ①              | ②   | ③  | ④     | ⑤    | ⑥         | ⑦     | ⑧ | ⑨ |
| 1. 病児・病後児保育事業の概要を理解する。   |   | ◎              |   | ○  | ◎     | ○    | ◎         | ○     | ○ |   |
| 2. 病後児保育室において保育士の役割を理解する。  |   | ○              | ○   | ○  | ◎     |      | ◎         |       | ○ |   |
| 3. 病後児保育のこれからの課題と展望について理解を深める。                                     |   | ◎              | ○   | ○  | ◎     | ○    | ◎         |       | ○ | ○ |
| 凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照 |   |                |   |    |       |      |           |       |   |   |
|  | 主 題   | 準備学習           | 本時の学習内容と到達目標  |    |       |      | 復 習       |       |   |   |
| 1  | 子どもの健康の意義   | オリエンテーション      | 子どもの健康の特徴、子どもの健康の影響因子、病気の一般的特徴を理解する。                                  |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 2  | 保育園児の健康状態の実態  | 前回の資料を読んでおくこと。 | 保育所で、多い子どもの病気、子どもの健康状態の把握について理解する。                                    |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 3  | 子どもの健康に関する保護者の意識  | 前回の資料を読んでおくこと。 | 医療従事者からみた保護者の意識、全国調査から見た保護者の意識について知見を得て、子どもの健康状態について保護者の意識について理解を深める。 |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 4  | 病児・病後児保育事業の意義   | 前回の資料を読んでおくこと。 | 病後児・病児保育の必要性とその背景、病後児・病児保育などの歴史、病後児・病児保育の意義について理解する。                  |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 5  | 事業の内容   | 前回の資料を読んでおくこと。 | ①病後児に対する国庫補助事業について経緯を知る。<br>②国庫事業の内容を理解する。                            |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 6  | 各事業所の紹介   | 前回の資料を読んでおくこと。 | 事例に基づいて各事業所の病児保育の特徴を理解する。   |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 7  | 体調の悪い子どもの早期発見   | 前回の資料を読んでおくこと。 | 体調の悪い子どもの早期発見、「体調が悪い」ことの意味とチェックポイントを理解する。                             |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 8  | 保育所における初期的対応  | 前回の資料を読んでおくこと。 | 保育所で「体調が悪い」状態の時に、保育士としてできる対応について理解を深める                                |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |
| 9  | 具体的保育の実践  | 前回の資料を読んでおくこと。 | ①帰宅までの保育方法を理解する。<br>②食事についての具体的実践について考える。                             |    |       |      | 資料、ノートの確認 |       |   |   |

|                                   |  |                |  |           |
|-----------------------------------|--|----------------|--|-----------|
| 10                                | 感染症対策  | 前回の資料を読んでおくこと。 | 保育所で流行する感染症、保育所での感染症の予防、<br>について理解する。  | 資料、ノートの確認 |
| 11                                | 体調の悪い子どもの<br>ケア  | 前回の資料を読んでおくこと。 | ①体調の悪い子どもとその背景を知る。<br>②子どもと病気、子どもの心身症として比較的多く見られる症状の理解。<br>③子どもが病気になった時の家族への影響について考える。 | 資料、ノートの確認 |
| 12                                | 体調の悪い子どもの<br>ケア  | 前回の資料を読んでおくこと。 | ①体調が悪い子どものケアの実際を学ぶ。<br>②体調と発達に即した遊びを理解する。<br>③保護者への支援について理解する。                         | 資料、ノートの確認 |
| 13                                | 体調が悪い子どもの保<br>育にあたって   | 前回の資料を読んでおくこと。 | ①平常では可能なはずの生活に支障をきたしている子どもについて考える。<br>②子どもの健康状態の評価について理解する。                            | 資料、ノートの確認 |
| 14                                | 病児・病後児保育の課題<br>と展望   | 前回の資料を読んでおくこと。 | いろいろな職種の立場で「体調の悪い子どもの保育」<br>についての考えを知り、これからの病後児保育について理解を深める。                           | 資料、ノートの確認 |
| 15                                | まとめ  | 前回の資料を読んでおくこと。 | 保育所保育指針から体調の良くないこどもの保育について理解を深める。  | 資料、ノートの確認 |
| 成績<br>評価                          | 受講態度 (30%) レポート (50%) ノート (20%) 合計 (100%)  |                |  |           |
| 教員<br>から<br>の<br>コ<br>メ<br>ン<br>ト | 体調が良くない子どものおかれてる状況が理解できるよう授業展開したいと考えています。これからますます働く保護者が増え核家族化が進む中で、健康状態がよくない状態でありながら保育をしていかなければならない状況が出てくるのが予想されます。いろいろな状況に対応できる保育士になれるよう期待します。場合によって施設見学を予定しています。交通費は自己負担になります。 |                |  |           |
| 教科<br>書                           | こどもの保健の教科書を使用します。  | 推薦<br>図書       | 書名 病児保育マニュアル 著者 帆足英一 発行所 全国病児保育協議会<br>書名 病児保育・事例から学ぶこと 著者 池田奈緒子 発行 芦書房                 |           |